

安芸高田市議への名誉毀損にあたるということで
広島地裁から30万円の支払いを命じられた
安芸高田市長・石丸伸二様

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
アメブロから『動物の繁殖は虐待』で検索を
<https://ameblo.jp/animal-police> ←こちらです

打算も妬みも全くなく、打算は誤算に終わる、信用第一主義、嘘はつかないという信念で動いている私が以下に意見を述べます。

2024/06/04

おしま都議のほうが正論だと思う。

まず、尾島氏がインタビューでコメントされたことを転載します。

「石丸さんのおっしゃるように東京を弱体化させて地方が発展するというのは、そもそもそんなロジックはないと思うんですよ。それをやろうとする人が、しかも都知事になろうと出てくる。東京からお金を奪ってでも地元を潤わせるということを地方の首長（道府県知事・市区町村長）さんが言うのはいいんですけど、都知事がそういうことを言い出したら、東京の弱体化というのが本当に実現されてしまったら、この国は滅びるんじゃないかと私は思っています」

尾島紘平都議の仰る通りだと思う。

東京都は一都一道二府42県のうち唯一、地方交付税を貰っていない自立都市。日本は、自立できない地方が国から地方交付税をもらって、無駄な仕事を（箱もの行政）してきた。結果、財政赤字が増えすぎた。そこで小泉純一郎総理が「地方も自立を」と促した。それをにがにがしく思った共産脳が「地方切り捨てだ」とお得意の「なりすまし弱者論法」でタカリ続けようとした。地方の首長が国へお金をクレクレと騒ぐならまだしも、石丸伸二氏が都知事になって東京を弱体化させてでも地方を潤わせるなんて異常思想では？

東京都一極集中では大地震などが起きた時にダメージが大きすぎるため、確かに分散は必要です。だからといって、人口の少ない地方自治体へお金を配って、東京都を弱体化させてでも、地方自治体を存続させるなんてあってはならないことです。

過疎の自治体を消滅させて自治体数を減らせば財政は合理的に回っていくはず。国も地方も感傷論で成り立つのではなく財政で成り立ってるのです。感傷論を捨てて、お金で割り切って考えましょう。削るべきところは削るのが「愛」。なんでもかんでも補助金クレクレと言うのはタカリ。お金を出さない人間は口を出してはいけません。

石丸さんに日本再生プランがあるなら、具体的な説明があるはずだがそれがない。石丸さんと対談したホリエモンは次々とアイデアがでてくるのは、日頃から日本再生を考えているからだと思う。（ちなみに私が考える日本再生は、まずは、行き過ぎた福祉費を大幅に削減すること。今まで福祉の世話になってきた人はもういいでしょ！一体、幾ら貰えば気が済むの?!）

日本はずっと「行き過ぎた福祉施策」だったため、まずは、小泉純一郎総理が改革に着手された。一方、石丸伸二氏は東京都を弱体化させると言ったかと思うと、「地方から東京に出て行きさえすれば素敵な暮らしができると思ったら、そうではなかったというのが実態だと思う、東京へ出た人がそう思わないようにしないといけない」と真逆のことを言い出す始末。思いつきで場当たりの言ってる感がある。「東京を変えて日本を変える」と言ったって具体性がない。小泉純一郎総理は「官から民へ、郵政民営化」というアピールと行動が一致していたし、群馬の山本一太知事も堰を切ったかのように話し出すのは、「強い思い」とか「憤懣やるかたない怒り」を抱えているからだと思う。

地方は、妬みと自惚れが強い人間がとても多く、優れている者を潰したがるだけではなく、いろいろと欲しがります。そういう要求に迎合する政治ではいけない。

これからは、コンパクトシティ化させ、ゾンビ企業・ゾンビ人間を切り捨てていかないといけない。近未来、ゾンビだって必要最低限のお金は貰えて（ベーシックインカム）、お金が無くても一日中楽しくゲームで遊べます（政府主導のムンソット計画）

昨年、イタリアの妻がいる男性が AI 彼女と心中したほどだし、若い世代は AI 彼女を作る人が多いそう。それだけゲームは現実より楽しいことが多いらしい。幸せなら現実だろうがゲームだろうがどっちでも良いと思う。近未来、楽しいゲームが政府によって無料で与えられる時代が来るというのに、不毛な改革論は必要ないと思う。

民主党が政権を取ったのが14年前のこと。その後、民主党よりは自民党のほうが良かったということで自民党が与党に返り咲いた。その時と状況が似ている。貧困化からくる希望的観測が膨らむとネットでバズる人がでてくる。

ホリエモン・ひろゆきが石丸慎二氏を応援してるからといって安易にのっかるのは危険だと思う。

ある学者さんも「石丸慎二さんは政策が見えてこない」と指摘。

ある学者さんが石丸市長と時間を共にした後、「石丸さんの政策が見えてこない」と。

激怒した石丸市長が YouTube でお得意の論破もどきを披露していたが論破になっていなかった。

「政策が見えない」と批判されたら、政策案を言えば良いだけなのに、別の角度から責めるのは論点そらしに過ぎない。

自分の政策案に自信があるなら、政策案を積極的に世間へアピールしたいと考えるのが自然だが石丸市長にはそれがない。その学者さんは長時間、行動を共にしたからこそ感じたものがあるのでしょう。政策が見えないと言われたら、石丸氏が政策案を言えば良いだけのことなのに、何を怒っているの？

政治家にならなくても政策案を考えるのは自由だし、政府へも簡単に提言できる。良い案なら採用される。現に、ホリエモンが株の売買単位を1000株から100株に変えたほうが株式市場が潤うと政府へ意見し、採用されて今に至っている。

※石丸さんより私のほうがよほど真面目に政策案を考えている自信がある。だからといって立候補はしません。

ここを読んで下さい→ <https://animal-police.lolipop.jp/jimin-he-matome.pdf>

2、石丸市長は「市長も報酬を下げたら？」と言われ、一円たりとも譲らなかった。それって信念っていえる？市長が率先して報酬を下げれば、議員だって下げざるを得なくなる感じがするし、役所職員だって下げざるを得なくなり、市民のためになる。なのに、石丸市長は一円も譲らなかった。れいわの大石あき子議員が大阪府職員時代に、橋下知事から朝礼で「公務員報酬削減を」と言われて、間髪入れずにかみついた大石あき子議員を思い出した、似てるから。

3、石丸市長のご両親が「息子は子供の頃から政治家になりたいと言っていた」と仰ったことを、石丸氏はわざわざ否定していた。否定しなくてはいけないほど、そこに拘りがあるよう。

4、ホリエモン・ひろゆきが石丸氏を応援してるのは老人アレルギーがあるからだと思う。ホリエモン・ひろゆきは IT 技術がずば抜けて優秀なため、老人から妬まれて脚をひっぱられた経験があるはず。それが老人アレルギーとなって、老人は全員ダメという決めつけから石丸氏を応援しているように見える。確かに高齢者は人格破綻者が多い。だからといって石丸氏を応援するのは早計では？二人とも石丸氏が名誉毀損裁判で敗訴したことすら知らないようだ。

5、市民団体・安芸高田市政刷新ネットワーク副代表は、「**石丸市長は就任早々に恫喝発言をでっちあげて、そのことを契機に議員を悪役にし、悪役を懲らしめる正義のヒーローとして振る舞っている**」と。これが真実なのでは？

安芸高田市という小さな市で30名もの市民が集まって市長を叩くに相応の理由があるように感じて調べたところ合点がいった。

ネットなら、ちゃらんぼらんな者らが動画をあげてお小遣い稼ぎをすることもあるが、市民団体となると相当な理由がないと人は集まらない。

6、求人情報サイト「クラウドワークス」に、石丸市長や国会動画から切り抜き動画を作成する「動画編集者」の募集がされているそう。つまり、石丸市長を支持していなくても動画編集をすればかなり稼げるということ。石丸市長人気は有償の動画編集によって支えられているということ。

7、広島地裁は「恫喝はなかった、石丸市長の行動は市議への名誉毀損にあたる」と、石丸市長へ30万円の支払いを命じた。その後、石丸市長は控訴したそうなので**控訴審の判決を注視しましょう**。殺人事件などは捜査機関のでっちあげが巧妙で、裁判所がそれを見抜けずに不当判決もあるが、恫喝事件くらいで裁判所が判断ミスするでしょうか。裁判所が市議会と利権で繋がるとはあり得ません。有権者は控訴審の結果を見て判断しましょう。石丸市長を判断する材料としては精度の高いものです。

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
アプリから『動物の繁殖は虐待』で検索を
<https://ameblo.jp/animal-police>